(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年4月7日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900234		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	あやめが丘グループホーム		
所在地	広島県三原市沼田西町惣定66番308 (電話) 0848-86-1211		
自己評価作成日	平成28年4月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900234-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成28年5月18日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

基本理念に掲げた、「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」の気持ちを大切にしケアに取り組んでいます。家庭的な環境の中で無理なくゆったりとした時間が過ごせ、入居者と職員の関係がご家族様に少しでも近づき、笑いの絶えない生活が送れるよう支援しています。また、近隣の保育園との交流も年々関わりが深まり、行事などに互いが行き来して、ふれあい交流の場を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

緑豊かな長閑な環境である。管理者が福祉用具取扱い等の経験から、住環境は快適な生活空間にこだわり、トイレ、手すりの位置など、使い勝手が良く、毎日の掃除により清潔に保たれている。敷地内を活用し、畑で家庭菜園や花を育てている。周辺が団地でもあり、地域との関わりが難しい状況もあるが、管理者は、積極的に顔を合わす努力をされ、訪問者や協力者が増えている状況である。隣接の保育園や市内の学校関係から、多数ボランティアが訪問され、利用者との交流が図られている。“利用者の身体機能の維持ができるように、利用者の笑顔が見たい思いで”職員間で話し合いを重ねて、日々のケアに精進されている。管理者は、日々の関わりから利用者の思いを汲み取り、職員中心ではなく、利用者中心で物事を常に考え、日々のケアの向上と今後の働きやすい職場づくり、利用者の外出を通しての社会との関わりをより深めていきたいと考えている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	職員の名札の裏に、施設の基本理念『出会い』『ふれあい』『助け合い』を記載し、個々が都度振り返り、理念に沿った支援が出来るよう努力しています。	月1回のフロアーミーティング会議で共有している。利用者の状況を踏まえて、年間目標（全体目標・職員目標）を作り上げ、理念と照らし合わせながら、日々実践されている。事業所の取り組み状況は、管理者から代表者へ常に報告をされている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事等、声を掛けて頂き、参加させて頂いています。又隣接の子ども園や施設の行事で、園児さんや、ボランティアの方々と、交流させて頂いております。	民生委員からお花見会の誘いがあり、他事業所と合同で開催されている。周辺が団地でもあり、地域との関わりが難しい状況もあるが、管理者は顔を合わす努力をされ、協力者や応援者が増えている状況である。隣接の保育園との交流や、市内の学校関係からボランティアが多数訪問されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	当施設の管理者が、地域の集会所や民生委員の方を通じ、地域貢献が出来る様に努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二ヶ月に一度、ご家族代表、民生委員、町内会長、地域包括支援センター、市役所職員の方々に参加して頂き、より良い支援が提供出来るよう、話し合いを行っています。	出席メンバーとの信頼関係が構築されている。現状を報告し、相談・検討を行い、それらの意見をサービス向上に活かしている。家族が特定（代表者）のみであるが、家族の大半が毎月定期的に面会や、家族合同の行事を年3～4回開催する中で、意見などを聴く努力をされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	高齢者福祉課の職員の方々に、相談、助言を頂き、連携が取れるよう努力しています。	市担当者から直接利用相談を受けることがある。管理者は定期的に市担当者と面談するよう努力をされ、協力関係を築くようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	職員同士の声掛け、見守りで離設を防ぎ、互いの知識を認め合い、身体拘束をしない支援の実践に努めています。	玄関は、日中は開放している。転倒の経緯から、車いすへの固定ベルトの設置、夜間等のベッドからの転落の可能性が高い利用者に対して、家族の了解を得て、やむを得ずベッド柵（身体拘束）をする場合がある。月1回のグループワークを通して、確認・見直しをしている。	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	虐待防止の講習に参加すると共に、新聞、資料に目を通す等、常に職員同士で声を掛けあい、防止に努めています。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	二ヶ月に一度、施設全体で勉強会を開催し、色々な制度を組み込み、学習できる内容で取り組んでいます。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	当施設の管理者が、入居前、入居時、退居時に十分な説明を行う事で、ご理解を頂いております。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	共有スペースに、ご意見箱を設置し、ご家族様からの要望等は職員一人一人が把握出来るよう、毎日の申し送りや、ノートを活用し、反映できるように努力しています。	毎月のホーム便りに、担当職員から生活状況のコメントを添えている。必要時の電話連絡や定期的（月1回程度）な家族の面会時には、日頃の様子を家族にお知らせをしている。個々の要望などは、申し送りノートを活用し、支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1回、フロアーミーティングを行い、意見、提案、業務連絡を行う場を設けています。又、随時担当者会議を開き、運営に関する連絡なども行っています。	日々の雑談や月1回のフロアーミーティングなどで、意見などを聴く機会を設けている。必要に応じて管理者から直接面談を受けることもある。同グループに臨床心理士が配属され、職員のストレスケア・カウンセリングの対応ができるように試行されていた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者によるヒアリングを通し、職員から個々に話を聞き、可能な限り環境、条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	随時、研修や勉強会を行い、職場でも活用出来るよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の町内会や、ボランティア様を通じて、同業者と交流する機会を作って頂き情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者が、施設見学の際などに、入居されるご本人様と面談を行い、納得、安心して頂ける関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用前に、内容を詳しく説明し、要望等その都度確認し、信頼関係が保たれるよう努力しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居前には、必ず居住されている所へ向かい、面談を行い、入居されてからの必要とする支援を含めたサービスプランになるように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人が可能な限り、家事や展示する作品作り、様々な事に協力して頂き、職員とも共同生活をしていると感じて頂けるような環境作りをし、良い関係が築けるよう努力しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話等で、その都度、近況を報告し、ご家族様とも良い関係を築ける努力をしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>近所の方や知人の方等、面会に来られた際には、話しやすいように環境を整えたり、ご本人の希望があれば、お手紙など送れるよう声掛け支援しています。</p>	<p>家族に、利用時に必要性を十分説明されている。以前、住まれていた近所の方や知人の方が来られて面会されている。面会時には、ゆっくりと過ごして頂くように、居室への案内をされるが、大半の方がリビングで話をされることが多い。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	見守り、声掛けを行い、入居者様ご本人が、孤独を感じる事のないように、入居者様同士や職員との関わりを通し、穏やかで安心した生活を送って頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居されても情報書類は保管し、ご家族様から連絡があれば、相談や支援に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様それぞれに担当の職員を決め、一人ひとり向き合い、ご本人の意向を少しでも多く把握出来るよう努め、ケアに反映できるようにしています。	雑巾縫い、衣類の補正をされる方もおられるので、縫物ができるようにしてある。隣接している保育園の園児にお手玉を作成され、手渡しをされていた。敷地内に畑があり、農作業をすることもあり、利用者個々の希望や意向は反映され、可能なことは実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時のアセスメントで、ご本人様やご家族様に、これまでの生活歴を御聞きしたり、普段のコミュニケーションにより、情報収集できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご本人様に無理のない様、見守り、声掛けを行い、ご本人様のペースで生活を送って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様それぞれの担当者が、モニタリングの見直しを行い、月に一度のフロアーミーティングで意見交換し、その都度計画作成者へ相談し、介護計画を作成しています。</p>	<p>利用前には、必ず自宅訪問され、生活状況の把握をされている。“日々の生活から活動を重視し、生きがい、楽しみ、笑って過ごして頂くように”利用者および家族の要望を踏まえて、介護計画を作成し支援している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やご本人様の訴えや対応など、個別に記録し、職員同士、申し送りノートを活用し、情報を共有して、介護計画の見直しにも活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様やご本人様より、サービスの変更や追加があれば、そのニーズに対応し、支援が行えるように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご本人様の意思を尊重し、職員はご本人様が、心身の力を発揮出来るよう支援していきます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月に二回、協力医院の内科の先生の往診や、必要に応じて、歯科往診もお願いしております。急変時の連絡も密に行い、他病院への紹介なども行っています。</p>	<p>大半の利用者がホームの協力医を主治医としている。24時間相談できる体制と主治医の応診が月2回あり、一人ひとりの健康チェックをしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>体調不良や普段と違う症状等、その都度看護職員へ相談し、適切なケアが受けられるよう支援しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、病院関係と情報交換し、互いに看護、介護サマリーなどを送り、必要時には退院前のカンファレンスに参加させて頂いています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居の際に、重度化した場合の受け入れ可能な施設への申込みを行って頂くよう助言したり、各事業所にも空き情報を聞くなどの支援にも取り組むようにしています。</p>	<p>医療行為ができないため、看取りの経験は今のところ無い状況である。重度化やターミナルケアに向かう事例が出た場合にはその都度、主治医や家族との話し合いを重ねての対応としている。今後は、看取りができる体制づくりに努めていきたいと考えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修にて、救急隊員の方から、急変時の対応やAEDの使用方法を、全職員が学習し、随時施設内で看護職員による急変時の対応の勉強会を開いています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>半年に一度、災害訓練を行い、マニュアルを作成し、職員がそれぞれ対応出来るよう体制をつくり、年に一度隣接のこども園と合同で、災害訓練を行っています。</p>	<p>年2回の内、1回は隣接の保育園との合同で訓練を実施している。災害時は、初動行動が大切なため、消防団や自治会と話し合いをされ、連携を深める取り組みをされていた。ホームとして、AED（自動体外式除細動器）を設置され、近隣住民へ知らせている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	『親しき仲にも礼儀あり』の言葉を意識し、入居者様1人ひとりを尊重し、又、身近な職員間にも同様に対応しています。	利用者の呼び方、日々の言葉掛けも、穏やかに対応することを心がけ、一人ひとりの性格やペースに合わせて、不快な思いをさせないように、十分気をつけた対応をされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	水分補給の際には、入居者様それぞれが飲みたいものを、可能な限り提供し、自己決定出来るよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様一人ひとりの思いや体調、いままでの暮らし方に考慮し、ご本人の希望やペースに沿って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問理容や美容、日常の中で髪の毛の整え方や、思いの服を着て頂けるように声掛け、見守りを行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	好みの物を御聞きし、変更出来る場合変更したり、おやつ作りを合同で行っています。又、食事の際には、テーブル拭きや、食器洗いを手伝って頂いています。	3食の副食（おかず）は外注としている。月1回は、利用者の希望に応じて、手作りバイキングを提供している。敷地内に畑があり、野菜（ナス、キュウリ、芋など）を収穫している。週2回の体重測定により、栄養状態の把握に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事制限のある方等、個々に合った支援を行っています。又、1日1000ml以上水分補給して頂けるように声掛けを行い、摂取量を、その都度確認しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>起床後、毎食後に声掛け、一部介助にて口腔ケアをし、就寝前には、義歯を洗浄剤に浸け、翌日の朝装着して頂いています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>声掛けや、ご本人の希望により、トイレ誘導を行い、必要時には職員が付き添い、なるべくトイレでの排泄援助を行っています。</p>	<p>状態に合わせてのトイレ誘導や身体状況に応じて、ベッド近くに、ポータブルトイレを設置している。職員はミーティングなどで話し合い、情報共有され、適切なトイレ誘導を行い、紙おむつ使用の削減を図る取り組みをしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事量や、水分量を随時確認し、申し送り等でも職員同士が声を掛けあい、体操などでも便秘の予防を図っています。主治医の指示での緩下剤も使用しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週二回の入浴を実施し、ご本人の希望やペースに合わせ、午前、午後、1対1の対応や、同性の職員での対応により、ゆっくりと安心して入って頂き、気分転換にフロアにて適時に足浴も実施しています。</p>	<p>基本、週2回の午後（14：00～）としているが、希望に応じて、午前中に入浴をする場合がある。気分転換に、フロアで適時に足浴を行う場合がある。一人ひとりの希望やペースに応じた柔軟な対応がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>室内の温度や湿度の調整、一人 ひとりが安心して休息出来るよ う、個室対応にしています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>主治医が処方した内服薬は、か かりつけの薬局にて管理してもら い、薬の効能、副作用が確認出 来るようファイルに保管し、不 明な点など薬局に相談し、助 言を頂いています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>家事や、色々なレクリエーショ ン、季節の展示品の作成等、無 理のない範囲でご本人様の力を 活かし、気分転換を図っていま す。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	<p>日光浴や散歩、車でのドライブ 等で、市内に行くこともあります 。庭の畑仕事出来るように、環 境を整えています。</p>	<p>季節毎の外出支援をされている 。敷地内の畑で家庭菜園・お花 を育てている。家族の協力を 得て、食事を兼ねて外出をさ れる方もおられる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように 支援している。</p>	<p>ご本人様のお金の所持は、トラ ブルの原因となるので、当施設 では、ご家族様からの預り金を 管理し、必要な際にお出しす るようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人様が希望されれば、電話や手紙のやり取りが出来るよう支援し、電話の際も聞こえのいい環境に配慮しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>毎朝の掃除をもとに、1日2回は換気を行い、季節の花を飾ったり、作成した展示品など、居心地よく過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>管理者が福祉用具取扱い等の経験から、人の動きは縦の動きが多いため、あえて縦の手すりを多く設置し、利用者の活動を増やす環境整備に努められている。利用者の大半は、リビングで過ごすことが多く、ゆったりとした空間により、一人ひとりが心休まる生活をされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル、ソファ等、ご本人様の好みの所に座って頂き、会話をしたり、テレビを観たり、趣味活動の範囲の拡大を図っています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内の、タンス、椅子等は使い慣れた物や、好みの物を使用して頂き、居心地よく安心して過ごして頂けるよう工夫しています。</p>	<p>利用前に必要物品表として、写真入りのパンフレットを手渡している。寝具・家具と生活必需品が自由に持ち込まれている。本人や家族と相談しながら快適な居住空間づくりに努めている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりや、バリアフリー等の環境整備で、安心な環境作りを行っています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 あやめが丘グループホーム

作成日 平成28年6月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成時にもう少し各入居者様に特化した内容の計画を立てるよう努力する。	入居者様の活動や過ごしやすい環境を提供出来るプランの作成	本人や家族様から特技や趣味など、もっとしっかり聞き取りを行い、介護計画作成時には聞き取り内容をもとに計画の作成・実行をするように努める。	約6カ月
2	10	入居者様もご家族も職員の顔と名前がいまいちわからない方がいる。	入居者様やご家族様に職員一人ひとりの顔と名前がわかるような工夫をする。	職員の写真と名前の付いたポスターのような物を作成し掲示板などに掲示する。	約2カ月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。